

① 詩 139 編

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌

139:1 主よ、あなたはわたしを探り、わたしを知りつくされました。

139:2 あなたはわがすわるをも、立つをも知り、遠くからわが思いをわきまえられます。

139:3 あなたはわが歩むをも、伏すをも探り出し、わがもろもろの道をことごとく知っておられます。

139:4 わたしの舌に一言もないのに、主よ、あなたはことごとくそれを知られます。

139:5 あなたは後から、前からわたしを囲み、わたしの上にみ手をおかれます。

139:6 このような知識はあまりに不思議で、わたしには思いも及びません。これは高くて達することはできません。

139:7 わたしはどこへ行って、あなたのみたまを離れましょうか。わたしはどこへ行って、あなたのみ前をのがれましょうか。

139:8 わたしが天にのぼっても、あなたはそこにおられます。わたしが陰府に床を設けても、あなたはそこにおられます。

139:9 わたしがあけぼのの翼をかって海のはてに住んでも、

139:10 あなたのみ手はその所でわたしを導き、あなたの右のみ手はわたしをささえられます。

139:11 「やみはわたしをおおい、わたしを囲む光は夜となれ」とわたしが言っても、

139:12 あなたには、やみも暗くはなく、夜も昼のように輝きます。あなたには、やみも光も異なることはありません。

139:13 あなたはわが内臓をつくり、わが母の胎内でわたしを組み立てられました。

139:14 わたしはあなたをほめたたえます。あなたは恐るべく、くすしき方だからです。あなたのみわざはくすしく、あなたは最もよくわたしを知っておられます。

139:15 わたしが隠れた所で造られ、地の深い所でつづり合わされたとき、わたしの骨はあなたに隠れることがなかった。

139:16 あなたの目は、まだできあがらないわたしのからだを見られた。わたしのためにつくられたわがよわいの日の／まだ一日もなかったとき、その日はことごとくあなたの書にしるされた。

139:17 神よ、あなたのもろもろのみ思いは、なんとわたしに尊いことでしょう。その全体はなんと広大なことでしょう。

139:18 わたしがこれを数えようとすれば、その数は砂よりも多い。わたしが目ざめるとき、わたしはなおあなたと共にいます。

【 KJV 】 If I should count them, they are more in number than the sand: when I awake, I am still with thee.

139:19 神よ、どうか悪しき者を殺してください。血を流す者をわたしから離れ去らせてください。

139:20 彼らは敵意をもってあなたをあなどり、あなたに逆らって高ぶり、悪を行う人々です。

139:21 主よ、わたしはあなたを憎む者を憎み、あなたに逆らって起り立つ者を／いとうではありませんか。

139:22 わたしは全く彼らを憎み、彼らをわたしの敵と 생각합니다。

139:23 神よ、どうか、わたしを探って、わが心を知り、わたしを試みて、わがもろもろの思いを／知ってください。

139:24 わたしに悪しき道のあるかないかを見て、わたしをとこしえの道に導いてください。

② 詩 139:17 訳の比較

【口語訳】 139:17 神よ、あなたのもろもろのみ思いは、なんとわたしに尊いことでしょう。その全体はなんと広大なことでしょう。

【 KJV 】 139:17 How **precious** also are thy thoughts unto me, O God! how great is the sum of them!

※ **precious** : 貴重な、むだにできない、高価な、希少価値のある、とても大切な

【新改訳 2017】 139:17 神よあなたの御思いを知るのはなんと難しいことでしょう。そのすべてはなんと多いことでしょう。

③ ローマ 1:19-20

1:19 なぜなら、神について知りうる事がらは、彼らには明らかであり、神がそれを彼らに明らかにされたのである。

1:20 神の見えない性質、すなわち、神の永遠の力と神性とは、天地創造このかた、被造物において知られていて、明らかに認められるからである。したがって、彼らには弁解の余地がない。

④ ヨハネ 16:33

16:33 これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあつて平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」。

⑤ ローマ 13:11

13:11 なお、あなたがたは時を知っているのだから、特に、この事を励まねばならない。すなわち、あなたがたの眠りからさめるべき時が、すでにきている。なぜなら今は、わたしたちの救が、初め信じた時よりも、もっと近づいているからである。

⑥ 詩 57:1

57:1 神よ、わたしをあわれんでください。わたしをあわれんでください。わたしの魂はあなたに寄り頼みます。滅びのあらしの過ぎ去るまでは／あなたの翼の陰をわたしの避け所とします。

⑦ I コリント 15:52-54

15:52 というのは、ラッパが響いて、死人は朽ちない者によみがえらせられ、わたしたちは変えられるのである。

15:53 なぜなら、この朽ちるものは必ず朽ちないものを着、この死ぬものは必ず死なないものを着ることになるからである。

15:54 この朽ちるものが朽ちないものを着、この死ぬものが死なないものを着るとき、聖書に書いてある言葉が成就するのである。